

個性的な外観で存在感のある家

「やわらかな光と風が流れる家」

■ 配置計画

北東側の環境と眺望の良さを活かして、北東向きの家としました。

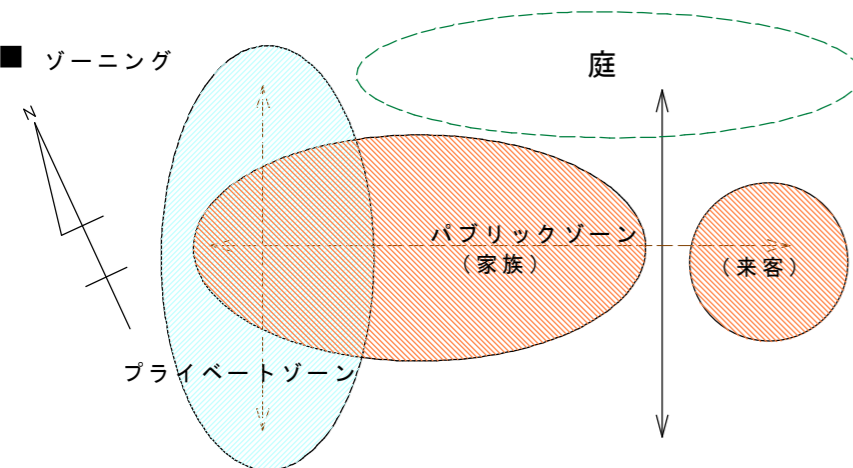
南からの採光を勾配天井のハイサイドライトでとることで明るさも確保しました。

南向きの場合は光がまぶしいことがあります、北向きの場合は間接光でやわらかな安定した明るさとなり快適です。

さらに方位が振れていることから、LDには朝陽が射しこみ明るい朝を迎えられ、冬には子供部屋が北風を遮ってくれます。

キッチンや寝室が西日をうまく遮ってくれます。

■ ゾーニング



道路から入って東側のエリアは車を回すスペースとしてあけました。

車から近い場所から入り口をとり、庭に抜ける通り土間のイメージの玄関を介して左右に振り分けています。

右側は客間、左に入ると奥行きのあるLDが広がり、奥に行くほどプライベートなゾーンになります。

普段は開放的に使える家族みんなのスペースです。

ブレイルームがプライベートゾーンとの共有スペースになっています。

LDとの境を閉めれば完全にプライベートな空間になりますが、開け放していれば両方から広がりを感じられます。

広い敷地を利用して平屋とし、無駄のないゾーニングで廊下は最低限しか設けないことで面積をコンパクトに抑えています。

■ 動線

家事がたのしく快適にできるような動線を重視しています。

家事のために設けた物干しテラスは家事の合間に休憩もできます。

どんな使い方をされるのか楽しみな場所です。

平屋にしたことも家事動線をコンパクトにするのに重要です。

常に玄関、キッチンとの行き来を考え、子供の様子を見ながら家事ができるのは子育てもたのしむ余裕につながります。

■ 仕上・仕様について

内部の床だけは自然素材、無垢の杉板にこだわりたいと思っています。

もちろん水回りの床などは、機能性も考えて掃除のしやすいもので考えます。

玄関の土間は白モルタルに墨を混ぜたもので仕上げるのもおすすめです。

外壁、屋根は予算内で選べる仕様でいいと思います。

■ 面積表

	面積 (㎡)	面積 (坪)
建築面積	125.87㎡	38.00
法廷延床面積	118.41㎡	35.75
その他の面積	5.79㎡	1.75
施工床面積	124.20㎡	37.50

■ コストについて

要望を取り入れながら面積は極力抑えるように計画しました。

平屋であることで基礎、屋根などコストアップになることから2階建て以上に面積を抑える必要があります。

見積が予算オーバーの場合には、建具や収納の扉などを省いても程よく空間が分かれるようなプランに

なっているため調整は可能かと考えています。

家の骨格を第一に考え、これから少しずつ手を入れて完成させていく過程も楽しんでいただけたらうれしいです。

出来たときに最高の家ではなく、年数を重ねることで完成されて味わいも愛着もわいてくる家が素敵だと思います。

■ 最後に家づくりについて

お目にかかれず、敷地も見ないで想像だけで出来たプランです。

模型を作りながら、立体的にどう光を入れるか、どう視線を抜けさせ、どう遮るかなど、

考えを巡らしましたが、まだまだ完成にはほど遠い感じです。

もう少し面積を抑えられないか、なにかをあきらめてでもコストに追いつく工夫ができないかと、未完成な状態です。

考えたことを思いつくままに書きとめた内容を見るのは大変だと思います。うまく伝わるといいのですが。

一生に一度の自分らしい家をつくる！その気持ちを強くもって前へ進んでください。